



・コスモスのタネまき

Q. コスモスを 11 月上旬に咲かせるときの、タネのまきどきと育て方を教えてください。

A. ‘センセーション・ダズラー’ や ‘ベルサイコ・レッド’ は 7 月下旬から 8 月中旬に種をまきます。

<ポイント>

早咲きのコスモスはタネをまいてから、60～70日で花が咲きます。草丈は7月まきで約90cm、8月まきで約80cmになります。

1 品 種

- ・ 一重早咲き…センセーション系、ベルサイコ系
- ・ 八重…ダブルクリック系
- ・ 一重遅咲き…イエロー キャンパス、在来系
- ・ 半八重早咲き…キバナコスモス



2 タネまき

大きな花壇には20～30cmあけて1か所に3粒ずつ直まきします。9cmのポットに3粒ずつまいて苗を育て、花壇に植え出してもよいでしょう。赤玉土（7）にピートモス（3）を混合した土にまき、5mmくらい覆土をします。発芽適温15～20℃。

3 間引き

早目に間引きをして徒長させないことが大切です。双葉の時と葉が触れ合うほどに育った時の2回、間引いて1本にします。

4 花 壇

土が湿りがちで根張りが悪いと育ちが悪く、枯れやすいので、水はけがよく日当たりもよい場所が適します。肥料が多いと茎葉が柔らかく育ち、倒れたり姿が乱れたりしますから、元肥はやらないで堆肥か腐葉土を入れるだけにします。30cmくらいの深さに耕し、表面をならし、水はけが心配であれば高うねにします。

5 定 植

ポット苗の植え付け間隔は20～30cmとします。タネのまきどきが遅く、苗が小さい場合は間隔をつめます。

6 追 肥

追肥は株の育ちぐあいを見て施します。もともと荒地でもよく育つ、丈夫な植物ですが、リン酸、カリ分の多い肥料を与えると、茎が硬く、花色がよくなります。

7 病虫害

病気はうどんこ病、灰色かび病。ムシはアブラムシやハダニに注意します。



・カリフラワーのタネまき

Q. カリフラワーをプランターでつくりたいのですが、むずかしいでしょうか。

A. 中早生の品種を夏まきすると、つくりやすくよいものがとれます。

<ポイント>

品種に応じた適期にタネをまき、花のできるころまでに大きな、しっかりした株を育てること。

1 品 種

- ・ 早生…バロック、美星
- ・ 中早生…ブライダル、野崎早生

2 タネまき

7月中旬から8月に、赤玉土と堆肥を等量に混ぜた土を使ってプランターに2すじにまきます。覆土は3～5mm。発芽適温25℃、発芽日数1～2日。ベト病、立ち枯れ病に弱いので直接雨に当てないようにします。

3 育 苗

混んでいるところを株間3～4cmに間引きます。本葉2枚の時に9cmポリポットに移植し本葉4～5枚まで育てます。キャベツより苗の発育が悪いので、うすい液肥を2～3回やります。

4 定 植

赤玉土(7)、堆肥(3)の用土に、定植2週間前に苦土石灰20g、1週間前に化成肥料25gをよく混ぜておき、条間20cm、株間16cmに株元の土を山型に盛り上げて植えます。3～4時間前に植穴と苗に十分に水をやっておきます。苗の脚が長くて倒れやすいので、ある程度大きくなったら土寄せをしてやります。

5 追 肥

1回目は定植後約15～20日にプランターの片端に、2回目は本葉15～16枚のころ、反対側に、1株当たり化成肥料を軽く半握りずつ施し、同時に肥料の上に軽くピートモスなどを敷いてやります。

6 結 束

白い花蕾を収穫するために、花蕾の径がこぶしより大きくなってきたら外葉で包み、ひもで縛ります。結束から20～30日後に収穫できます。

